

2021年(令和3年)3月24日(水)第23回例会(通算2897回)

国際ロータリー第2580地区



石垣ロータリークラブ週報

会長：森田 安高 副会長：黒島 剛 幹事：東上里 広和 副幹事：吉田 貴紀

今月のロータリーレート 1\$¥106

創立年月日：1962年3月12日

今年度創立60周年



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度RIテーマ

RI会長：ホルガー・クナーク

地区ガバナー：野生司 義光氏

2020-21年度 ◆クラブテーマ◆ 【心機一転】

クラブキャッチコピー：島のリズムで伝える平和と奉仕のくるくる(心)

☆地区年次目標☆

「会員増強」

「公共イメージの向上」

「ロータリーデーの開催」

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなの為になるかどうか

シリーズ：森の名人・戸眞伊さんと森の木

石垣方言：マチ

和名：リュウキュウマツ

成長が早く、まっすぐに伸びるのでパルプ材として西表から本土の製紙工場へ何本も送られたこともあるそうです。戸眞伊さん曰く、リュウキュウマツには2種類(赤と白)があり、見た目も木目も全く違います。白は石垣島でも数本しか戸眞伊さんも見たことがないそう。白の木目は動きがありとてもキレイで、光が透けて見えることから、戸眞伊さんはランプなどの制作をしています。白のリュウキュウマツがもっと増えるといいですね。



3月10日(水)例会報告

《司会進行：吉田 貴紀》

ロータリーソング：手に手つないで 四つのテスト

ソングリーダー：上勢頭 保

メイクアップ：宮良 榮子 大城 文博

会員総数	47名
出席義務会員	46名
出席数	31名
欠席数	15名
出席率	67.39%
通算出席率(2月)	63.03%

★3月のプログラム 3/24(水) 会員卓話：山下 暢氏

例会日 水曜日 12:30~13:30

例会場 アートホテル石垣島(0980)83-3311

事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町1-1-4

TEL/FAX(0980)83-2917

URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>

E-mail ishirotyary@ninus.ocn.ne.jp

◆ 会長挨拶:森田 安高 ◆



皆様こんにちは。

先日、8日(月)に60周年記念事業の委員の集まりを致しました。60周年記念事業の開催をするか否かというところを皆さんといろいろ議論をいたしまして、開催の方向で進めているところであります。予算的なものも縮小しながら人数も限られてきています。今週中には案内文書を各クラブにお送りするという形を取らせて頂きます。最終的には人数確認したなかで開催の規模が確定するということがありますので、ぜひとも会員の皆さま、ご協力のほどよろしくお願いいたします。疑問等がありましたら、会長・幹事に聞いていただきましたら細かくご説明致しますのでご理解のほどよろしくお願い致します。また、以前に卓話をして頂いた公営塾に3/23の17時から石垣市役所のなかで寄付金の贈呈式を行います。コロナの影響で会員の皆さんで集まってということができず、担当部署数人で行いますのでご理解の方よろしくお願い致します。今日は会員卓話をして頂きます西表さん、どうぞよろしくお願い致します。

◆ 幹事報告:東上里 和広 ◆

まず始めに、大瀨信泉記念館のトイレの改修工事が昨日、無事に終えて工事完了となりました。竣工式は4月の中旬ぐらいに調整中で決定次第、公表させていただきます。飛行機で移動する会員の方が数多くいらっしゃると思いますが、日本航空、全日空がPERを盛り込んだサービスを提供しております。PCR検査が必要になった際にはHPからアクセスして登録をして検査を受けることができますし、価格も抑えられておりますのでご活用いただけたらと思います。

◆ 会員・委員会からのお知らせ ◆

今西米山委員長:平素は米山委員会にご理解とご支援を賜りましてありがとうございます。2580地区より「よねやまハイライト」からですが、本年度、米山の寄付金が減少しているということでございます。当クラブからも

会員から寄付金を頂いておりますが、個人寄付といたしまして石垣クラブから現在5名の方が寄付して頂いております。森田年度もあと3ヶ月となりましたので、どうぞ今一度、米山奨学生に対しましてご理解とご支援を賜りたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。

会員卓話:西表 浩司 氏

(西表鉄筋 代表取締役)

◆ テーマ ◆

鉄筋工事業とは。



今日は、僕の職業の話と日常生活の話を織り交ぜながら卓話を始めたいと思います。よろしくお願い致します。鉄筋工事業とは、どういう仕事なのかと申しますと、建物の内部、骨組みを鉄筋で組む仕事です。W造(wood)木造住宅は基礎の部分のみになります。S造(Steel)こちらはプレハブでこれも基礎の部分になります。今一番主流なのが、RC造(Reinforced-Concrete)鉄筋で補強したコンクリートという意味です。何故このRC造が出来たのかと言いますと、1867年頃、フランスのジョゼフ・モニエという庭師が植木鉢の陶器とかコンクリートの植木鉢等が流行った時、壊れたり劣化したり熱に弱かったりして、何か良いものが出来ないかということでセメントに金網を混ぜて造ったのがこの鉄筋コンクリートという構造の始まりだそうです。SRC造(Steel-Reinforced-Concrete)鉄骨と鉄筋コンクリートを混ぜた構造になります。SRC造というのは主にビル、高い建物に使われます。イースターチャイナシーホテルがSRC造です。RC造これは先程の鉄筋コンクリートでその中でもラーメン構造、壁式構造があります。ラーメン構造は柱、梁がある家でラーメンというのはドイツ語で額縁という意味です。壁式構造は柱がなく壁のみで建っている家のことを言います。何故、鉄筋とコンクリートが主に使われるかと言いますと、とても相性が良いらしくコンクリートは圧縮に強いんですね。上から押えられる力には強いんですけど、逆に引っ張られる力には弱いらしいです。更に熱にも強くアルカリ性。鉄筋の特徴は、逆に圧縮に弱いけれども引っ張っても切れないのが鉄筋の性質です。これを組み合わせるとより強度な建物に繋げることを発明したのが庭師の植木鉢からだそ

うです。建物を建てるに当たって構造設計標準仕様書というものをまず図面の1ページ目に貰います。ここにどういった部分をどういった風に曲げなさいとかどういう箇所に継ぎ手をもってきなさいとかをズラッと書いてあります。これに基づいて鉄筋を組んでいきます。この図面だとこれが柱の部分になります。いろいろ事細かな指示をこの図面から読み出して鉄筋を組んでいます。鉄筋を組むにあたって県知事許可番号、10年以上の実務経験、施工図作成技能士、1級鉄筋技能士を備えてこの許可番号を頂かないかぎり実際の建物の鉄筋を組んだら法律上はダメです。忙しいから独立したとかいう人達は、実際のところこの許可番号なく公共工事にも入れないのが現状です。そういう方が数年前から増えて石垣でも職人不足ですが職人はいます。ただ一会社から分裂しただけの話しでみんなが戻ってくれば職人が増えて大きな工事もできるだろうと僕は思います。図面から読み取ったものを鉄筋ソフトがあってそこに数字を打ち出してここからが僕たちの工事スタートとなります。それからこれを工場に持って行ってこの図面上に全てうまります。この時はとっても忙しかったのでヤードに常時300トぐらい散々としていました。こちらは宮良のTさんの建物ですがこれが壁式構造、柱がない家です。こういうふうに現場で組んだりしています。こちらはラーメン構造で柱がある家です。こんな流れで民間住宅やアパートを行っています。次の写真は公共工事でアクセス道路です。ここから先まで380トあります。一般の家の柱の太さの鉄筋が15センチピッチで380ト。これはシングルですけど、ダブルに組み直して1本残らず全部縛ります。この時、25名体制で無事に終わりました。次に宮良の磯辺の下流からT型のコンクリートがありますが、その基礎になります。これは地下25トあります。この時は暑くて地獄でした。三段の柱を建てて、この細い鉄筋は一般的な柱で使うD22です。もの凄い重量の鉄筋で29センチ、更に太いのが35センチ、この鉄筋は普通の胆管パイプでD51といって鉄筋のなかで一番太い鉄筋です。1トで16センチあり、これがこの空間で250本です。これでアクセス道路を支えています。写真では伝わらないので持ってきました。こちらは南ぬ島

でりゅうせきの移転工事のものです。これも結構な太さで頑丈な鉄筋を組みましたが倉庫です。地盤が砂地なのでこの建物は強度のためだと思います。僕らの仕事は完成しても人の目に触れることはありません。もし人の目に触れることがあれば手抜き工事だと思ったほうがいいです。こちらは沖縄県で鉄筋を造っている工場です。去年、従業員を連れて行きました。自分達が組んでいる鉄筋が何処でどうやって造られているかを見学に行きました。3万トぐらいありました。30坪の平屋で約15トぐらいです。この中に3万トで、もの凄い量です。この細かいのは全て鉄筋で一番長いのが12トにカットされたものを石垣島内や沖縄本島に運搬しています。ここで造られたものが沖縄県内に100%家に行っています。僕の事務所の机の横には図面が積んであって500件ぐらいあります。これまでが僕がどういうふうな仕事なのかの説明でした。ここからはプライベートの話しに入ります。釣りが好きで西表に行ってきた時の写真でアカジンやクロバニーアカジンが釣れました。子どもですけど80センチぐらいあります。また、黒島に行った時には2キロのイカが釣れました。ご存じかと思いますがきいやま商店のマストと同級生なのでよく一緒に釣りに行っています。釣りが好きで船も買いました。Captain Kirariという名前で娘の名前を付けました。ついでにTシャツも作って50着ほどすぐに完売いたしました。野球も観るのもするの好きでこの写真は何年か前のオープン戦です。皆さんもそうだと思いますが早くコロナが終わってこういう日常に戻ればいいなと思います。100回記念の甲子園にも行って来ました。ダイビングしたり座間味島の手漕ぎヨットレースというのがありまして、座間味からとまりんまで35キロを漕ぐというアホみたいなレースです。5時間かかりました。また走るのも好きでTSUNDAMI マラソンや那覇マラソン、やまねこマラソンにも参加しました。走るだけじゃなくて石垣島マラソンの時にはトロピカルハウスの前でおにぎりとか配っていて3年ぐらいやってます。協賛お待ちしております。あと夏になったら小学校の子どもたちを連れて山に行っておクワガタを捕ったりしています。捕るに飽きたらず飼育にも入ります。大阪の間屋に電話して情報を仕入れて、

オーストラリアのニジイロクワガタをタマゴからここまでにしました。インドネシアのノコギリクワガタなどがゴロゴロいます。こういったものをフェイスブックに載せたりするので、それを見た小学生たちが事務所に貰いに来ます。全部あげていまはもうないです。あと絵を描くのも好きでドラゴンキッチンのしゃぶしゃぶ屋さんに頼まれて看

板も書きました。これはマグロですが海人がおもりに鉄筋のちょっとしたものを貰いに来てそのお返しにマグロを持って来たりしますのでそれをさばいていただきます。日曜日には BBQ したりして楽しんでいます。縁側の LOGOS ステージもありますのでお近くをお通りの際はぜひいらしてください。ご清聴ありがとうございました。

～例会風景～



鉄筋コンクリートの建物を造る場合、まず先に鉄筋工事を行います。その後、鉄筋の周囲を型枠で囲って、そこに生コンクリートを流し込みます。コンクリートが乾いて固まったら、型枠を外して完成となります。鉄筋を組み立てるところまでが「鉄筋工事」で、鉄筋工と呼ばれる職人が担当します。型枠を組み立てるのは型枠工、コンクリートを流し込むのは生コン業者です。専門の職人が協力して作業をすることで、しっかりした建物ができあがります。



炎天下での作業は大変



カブトムシの飼育やヨットレースに釣りと多趣味な西表氏



本日のニコニ

- ☆森田安高氏:西表さん 今日の卓話よろしくお願ひします。
- ☆仁開一夫氏:西表会員 卓話ありがとうございます。
- ☆橋本孝来氏:西表さん 卓話ありがとうございます。
- ☆今西敦之氏:西表会員 本日の卓話よろしくお願ひ致します。
- ☆吉田貴紀氏:西表さん、お疲れ様でした。
- ☆新垣精二氏:スズキ、ダイハツ車販売 優秀販売店表彰いただきました。

◆BOX¥6,000 (累計¥163,418) ◆コイン¥3,311 (累計¥50,457) 合計¥213,875

◆60周年記念基金 累計¥74,000



大浜 一郎氏 7日(日) 宮良 幸男氏 13日(土) 大田 次男氏 14日(日) 南波 正幸氏 29日(月)

